
立派な‘悪の’魔法使い

やまNEKO

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

立派な「悪の」魔法使い

【コード】

N9630Y

【作者名】

やまNEKO

【あらすじ】

自称 魔王から力をもらって世界を俺色に染めてやるZE 実際
はこんなに元気ではありません

プロローグ

とある少年がいた……

その少年の魔力、気は至って平

凡だった……

だが知識だけは誰よりもあつた……

一般人が知っている知識から遙か昔に途絶えた知識、神を召還する儀式など彼に知らない物は無いとされた

その少年はある英雄の息子の次男である……

その少年はある日を境

に命を狙われる様になった……

そしてその少年『ジン・スプリングフィールド』は後『立派な、悪の、魔法使い』

その兄『ネギ・ス

プリングフィールド』は『立派な魔法使い』

として語り次がれるのだった。

図書館脱出大作戦（前書き）

ああ文才がほしいorz

図書館脱出大作戦

sideジン

「いたぞ!」「捕まえる!」

(ハア、ハア・・・ったく、いつたい俺が何をしたって言うんだよ!)

時をさかのぼる事3時間

前・・・

「なあ、ネギ兄さつさとでようぜ。分からない事なら教えてやるから」

俺たちは今王立図書

館の最深部にいる。・・・最深部は魔法学校の教師レベル以上の者しか見れない様な本があり一般人の立ち入りを禁止している様な場所だ。もちろん俺たちが入れる様な場所ではなく見つければ何らかの罰が与えられるのは目に見えているが

「そうよネギ!ジンも教えてくれるって言うてくれているんだし、さつさと帰るわよ」

こいつの名前

は『アンナ・ユーリエウナ・コロウア』みんなからは『アーニヤ』と呼ばれている女の子だ。

「うん・・・後少し」

そしてこいつが『ネギ・スプリングフィールド』俺の兄だ。
大人たち曰くネギ、こそが、英雄の息子で俺は邪魔者らしい、つた
く酷い扱いの差だ

「なあ、

ネギ兄そろそろ見つか」「こおおらあゝ!!」「よし!アーニヤ
!ネギ兄!逃げんぞ!!!」

「うん・・・大丈夫」このバカ兄が!

ひよい 本を取り上げる音

バタバタ ネギが暴れる音

ベシッ 本で

ネギの頭を叩く音

「いたっ!なにするんだよジン!」

あゝダメ

だな、こいつバカだ。

「今俺達は図書館にいる。」

「うん」

そして今俺達は逃げている。なぜだかわかるか?」

ふるふる ネギが首を横に振る音

「今俺達は館長に見つかってにげているんだよ!」

「ええっ！早く逃げなきゃ」

「分かってる（わよ）！！」

「おお見事にハ

モった。」

そんな訳で現在・・・

「いたぞ

！」「捕まえる！」

（ハア、ハアったく、いったい俺がなにをしたって言うんだよ！） 不法進入です

「出口が見えたわよ！」

「でも塞がれているよ」

「うわ〜前にも敵、

後ろにも敵・・・完全に囲まれてるな

「ネギ兄、『魔法の射手』使え

「一応使え

るか？」

「るけど、一矢だけだよ。」

「よし！それで十分だ！」

「それでどうするの？」

「ああ、『魔法の射手』

を正面にいる兵士の隣の本棚にぶつけてくれ！」

「ちよ

っと！それってまずいんじゃない？」「捕まるのとどっちがいい？」「よし！撃ちなさいネギ」

「う、うん。ラス・テル マ・スキル

マジステル『風の精霊1柱。集い来たりて「敵を射て」魔法の射

手・風の1矢』！」

ドゴン！

「棚が崩れるぞ！」

「にげるー！」「ぎゃあああああー！」
「……よし。にげるぞ」「……」「……」「……」

いや、俺だってここままでやるつもり

なかつたんだよ。ホントだよ

図書館脱出大作戦（後書き）

テレレレレッレッレ

ジンはレベルアップした

素早さが4アップした

ジンは『強行突破』を覚えた！

ジンの

大人からの好感度が50下がった

好感度 - 450 - 500

どうだったでしょう

か（汗）感想をくれるととても喜びます。どうかお手柔らかにm）

・・・m

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9630y/>

立派な‘悪の’魔法使い

2011年11月30日17時55分発行